

令和6年度ほくぎん若手研究者助成金募集要項

株式会社北陸銀行
国立大学法人 富山大学

株式会社北陸銀行（以下「北陸銀行」という。）及び国立大学法人富山大学（以下「富山大学」という。）は、「国立大学法人富山大学と株式会社北陸銀行との包括的連携協力に関する覚書」（平成17年3月23日）に基づき、富山大学の優秀な若手研究者の育成を通じて、我が国の人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたる学術研究の発展及び地域の活性化に資することを目的として、以下のとおり研究助成金の募集を行います。

1. 研究助成対象

人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたる研究で、1人で行う研究計画を対象とします。
地域の活性化に資する研究や、社会実装を目指す研究者の積極的な応募を歓迎します。

2. 応募条件

(1) 応募資格

富山大学の明日を担う研究者で、以下の条件を満たす者とします。

- ① 令和6年4月1日時点で満42歳未満である者
- ② 富山大学に所属する常勤の教育職員（特命を含む教授・准教授・講師・助教・助手、病院助教、病院特別助教等）
- ③ 原則として、少なくとも令和7年3月末まで、富山大学に在職し、かつ助成を受けた研究を完了できる者
- ④ 過去に当該助成金に採択されたことがない者

(2) 応募件数

1人1件まで

(3) 応募の制限

「科学研究費助成事業獲得に関する方針」（令和5年6月14日研究担当理事通知）に基づき、正当な理由なく令和6年度科学研究費助成事業（科研費）に申請しなかった者は、応募できません。

3. 研究助成の概要

(1) 助成金額

100万円以内

(2) 採択件数

予算の範囲内で、全体で4～5件程度

(3) 研究期間

令和6年5月中旬（予定）から令和7年3月31日

4. 選考方法及び選考基準

(1) 選考方法

「富山大学における研究助成等審査要項」（令和5年5月12日役員会決定）に基づき、人文・社会・芸術系、理工系及び医薬系の分野ごとに第一段審査員による第一段審査（書面審査）及び研究担当理事室会議による第二段審査（総合審査）の二段階の審査を経て、助成候補者を学長から北陸銀行に推薦します。

※第二段審査（総合審査）には、北陸銀行からのオブザーバーを加えます。

※最終的な採否決定は、北陸銀行が行います。

(2) 選考基準

【第一段審査（書面審査）】

次の基準を審査します。

- ・研究課題の独創性及び革新性
- ・研究課題の学術的重要性
- ・研究課題の波及効果
- ・研究計画及び研究方法の妥当性
- ・研究遂行能力
- ・研究課題の社会貢献性（地域の活性化や課題解決へ発展が見込まれるか）

【第二段審査（総合審査）】

他の財団等の研究助成への応募状況を含め、総合的に審査して選考します。

(3) 選考等スケジュール

① 公募期間	令和6年1月15日（月）～令和6年1月26日（金）
② 第一段審査（書面審査）	令和6年2月上旬～中旬
③ 第二段審査（総合審査）	令和6年3月上旬～中旬
④ 採否決定	令和6年4月上旬頃
⑤ 目録贈呈式	令和6年5月下旬～6月初旬（予定）
⑥ 成果発表会	令和7年5月下旬～6月初旬（予定）

5. 応募方法

(1) 提出書類

研究助成金に応募する者は、以下を各キャンパス担当へメール添付にて提出してください。

- ・ほくぎん若手研究者助成事業申請書

※様式の改変は認めませんので、ページの増減は行わないでください。

※申請書は、モノクロ（グレースケール）印刷を行い審査員に送付するため、印刷した際、内容が不鮮明とならないよう、作成に当たってはご注意ください。

(2) 提出期限

令和6年1月26日（金）

6. その他

(1) 研究実績報告書

研究助成金の交付を受けた者は、研究期間終了後の別途定める期日までに、「ほくぎん若手研究者助成事業研究実績報告書」を提出してください。

また、研究実績報告書は、富山大学のウェブページに掲載しますので、予めご了承ください。

(2) 研究成果発表会等での発表

研究期間終了後、成果発表会等において研究成果を発表していただきます。

7. 提出先及び応募に関する問合せ先

（五福キャンパス）研究振興課 滝本（内線 6388）

E-mail: kenshin@adm.u-toyama.ac.jp

（杉谷キャンパス）研究振興課 高野（内線 8865）

E-mail: takano63@adm.u-toyama.ac.jp

（高岡キャンパス）芸術系総務・学務課 奥沢（内線 138）

E-mail: tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp

※これまで外部資金の獲得経験が少ない若手研究者の方も、是非積極的にご応募ください。